

100万人の復興プロジェクト

生活復興プロジェクト

■ 被災者生活再建支援

・被災者伴走型生活支援事業

地域支え合い

77,674千円

応急仮設住宅に入居している被災者を対象に、絆支援員が訪問・相談などを行い、地域団体や関係機関と連携を図りながら生活再建支援を行う。

また、恒久住宅への速やかな移転が困難な被災者に対して、転居のための総合的な相談と支援を実施する。【新規】

※被災者就労支援事業は、平成27年4月開始の「生活困窮者自立支援制度」に統合

※被災地区コミュニティ情報提供事業(「みらいん」の発行)は、平成27年3月号をもって終了

震災メモリアルプロジェクト

■ 震災メモリアル・市民協働プロジェクト

震災復興基金

6,200千円

震災の記憶を市民共有のものとして留め、継承するメモリアルプロジェクトに市民協働で取り組むための仕組みづくりを進める。(「伝える学校」及び荒井駅上部施設の活用等)

未来に責任を持つ都市経営

多様な主体による新しい協働の推進

■ 多様な市民活動促進

市民力の充実・拡大を図るため、市民活動サポートセンターにおけるNPO等をはじめとする様々な主体への支援のほか、市民が安心して市民活動に参加できるよう市民活動補償制度の運営等を行い、さらなる市民活動の促進を図る。

また、特定非営利活動促進法に基づくNPO法人の認証及び認定事務等を行う。

・市民活動サポートセンター運営

160,519千円

・市民活動補償制度運営

5,250千円

・市民活動の促進(若者の社会参加促進、市民協働人材育成など)

3,540千円

・NPO法人認証等

2,665千円

■ 新しい市民協働の仕組みづくり

市民協働を進めるための基本方針や実施計画の作成に取り組むほか、市民活動団体等と仙台市が協働して地域社会の身近な課題を解決する「市民協働事業提案制度」に、複数の団体等が協力して事業を実施する部門を新たに設けるなど、多様な主体による協働の推進を図る。

また、様々な市民が、地域課題を共有したり課題解決に向けた話し合い等ができる場の運営を行う。

・市民協働事業提案制度

15,890千円

・市民協働の推進

2,569千円

・せんだい市民カフェ

911千円

自然と調和した持続可能な都市づくり

東西線フル活用プラン推進

■ 東西線魅力向上・利用促進

東西線の開業を契機に多様な主体が連携し、開業気運をさらに高め、沿線の魅力向上と利用促進を図る取組みを進める。

・WEプロジェクトの推進

※交通局負担分を含む。

133,008千円

・東西線まちづくり市民応援部の運営等

44,200千円

・東西線情報誌「まっくる」の発行

43,800千円

・国際センター駅上部空間施設の整備・運営

49,943千円

・東西線関連イベントの開催

13,500千円

・東西線開業PRの実施

9,500千円

■ 東西線沿線まちづくり推進

東西線沿線エリアに「行ってみたい」「住んでみたい」「仕事をしたい」「出店してみたい」と思ってもらえるように、市民や企業、学生などさまざまな力を結集して、魅力あるまちづくりを進める。

・東北工大「せんだい創生プロジェクト」

1,500千円